

## 第66回 宮城県中学校総合体育大会専門部要項

### 陸上競技

1. 期 日 平成29年7月22日(土)～24日(月)
2. 会 場 ひとめぼれスタジアム宮城
3. 競技規則 平成29年度日本陸上競技連盟規則及び本大会実施要項による
4. 大会規則

#### (1) 競技方法

学校対抗は男女別とし、それぞれ合計点の多い順に順位を決定する。1位が同点の場合は、優勝種目の多い方を1位とし、2位以下については、同点の場合は同順位とする。同一種目で同じ学校の選手が3名入賞した場合は、上位2名の選手に得点を与え、3人目の得点についてはカットする。得点は、1位8点、2位7点、……………8位1点とする。

#### (2) 申込〆切

申し込みは全て事前にデータ送信で行う。各郡市委員長が自分の担当郡市をまとめ送信をする。なお、委員長は「様式A」を印刷し、抽選会までに提出する。データ送信先・〆切は下記とする。ただし、専門部総会で特例として認められた地区は締切を別に定める。

締切：6月22日(木) 17:00

電子メール送信先 仙台市立蒲町中学校 佐藤 尚則 宛

Eメール送信アドレス tacuckoo@sendai-c.ed.jp

~~※ 塩竈市、宮城郡、富谷黒川地区、石巻地区は、6月24日(土)締切とする。~~

#### (ア) 「様式A」の提出が郵送の場合

6月22日(木)必着で、県委員長宛に郵送すること。

データ送信した「様式A」を印刷し、郡市中体連会長印・委員長印を押印したものを提出

県委員長校 仙台市立鶴が丘中学校内 小笠原 豪 宛

〒981-3190 仙台市泉区鶴が丘2丁目1-1

TEL. 022-373-1870 FAX. 022-373-3487

#### (イ) 「様式A」の提出が持参の場合

6月28日(水)の県中総体抽選会に持参すること。

データ送信した「様式A」を印刷し、郡市中体連会長印・委員長印を押印したものを提出

抽選会場：仙台市陸上競技場 2F会議室

#### (ウ) 郡市大会の成績一覧を添えること。

#### (3) 競技種目

《男子17種目》

1年100m, 2年100m, 3年100m, 共通200m, 共通400m, 共通800m, 1年1500m, 2・3年1500m, 共通3000m, 共通110mH, 共通4×100mR, 低学年4×100mR, 共通走高跳, 共通棒高跳, 共通走幅跳, 共通砲丸投, 共通四種競技(1日目…①110mH②砲丸投 2日目…③走高跳④400m)

#### 《女子14種目》

1年100m, 2年100m, 3年100m, 共通200m, 共通800m, 1年1500m, 2・3年1500m,  
共通100mH, 共通4×100mR, 低学年4×100mR, 共通走高跳, 共通走幅跳, 共通砲丸投,  
共通四種競技(1日目・・・①100mH②走高跳 2日目・・・③砲丸投④200m)

(注) 男子110mH, 高さ91.4cm スタート～第1ハートル 13.72m, インターバル9.14m, 台数10台

(注) 女子100mH, 高さ76.2cm スタート～第1ハートル 13.00m, インターバル8m, 台数10台

(注) 男子砲丸の重さは, 共通5kg, 四種競技4kg

#### (4) 参加資格

(ア) 学校教育法に定められた中学生で, 当該種目の選手または補欠として登録された者。

1人1種目とする。(ただし, 駅伝, スキー, スケートを除く)

(イ) 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍している中学生。

a 参加を希望している各種学校は以下の条件を具備すること

①宮城県中体連の目的及び長年にわたる活動を理解し, それを尊重する。

②生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されている。

③参加を希望する学校は, 運動部活動が学校教育の一環として, 日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに適切に行われている。

b 宮城県大会に参加した場合に守るべき条件

①出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに, 大会の円滑な運営に協力する。

②大会参加に際しては責任ある当該校長又は教員が生徒を引率する。また万一の事故発生に備え, 傷害保険に加入するなどして, 万全の事故対策を立てておく。

③大会開催に要する経費については, 応分の負担をする。

(ウ) あらかじめ健康診断を受け, 異常を認めない者。

(エ) 過年齢生徒の参加については, 体力的, 技術的要因が大きく関わると考え, 満16歳に達した年度まで出場できるものとする。また, 学年指定種目については該当年齢とする。

#### (5) 出場制限

(ア) 学年種目は, 相当学年の生徒に限る。

共通種目については, 1年生も出場できる。

他国籍生徒などの学年種目出場については, 他の選手が不利益にならないようにする。共通種目については, 中体連規定による。

(イ) 1人1種目, ただし, 他にリレー1種目を兼ねることができる。

(ウ) 各校の同種目の出場人数は, 最大で1校3名以内とする。

ただし, 四種競技は1校2名, リレーについては1チームとする。

リレー2種目を兼ねることはできない。

低学年リレーの登録は6名以内とし, 各学年4名までとする。メンバーは2年生2名, 1年生2名とし, オーダーは自由とする。

(エ)各郡市の出場人数は、中体連出場基準（前年度の出場校数）により下記の通りとする。

- a 1種目2名（8校以下の地区）…角田・伊具（4），亘理（6），岩沼（4），名取（5）  
塩釜（5），多賀城（4），宮城（6），遠田（4）  
加美（4），栗原（8）

1種目3名（9～14校の地区）…白石・刈田（10），柴田（9），富谷黒川（9）  
大崎（12），登米（10），気仙沼・本吉（14）

1種目4名（15～20校の地区）…該当なし

1種目5名（21～26校の地区）…石巻地区（24）

1種目12名（55校以上）… 仙台市（男61，女61）

- b 男女四種競技並びに棒高跳びについて、下記の標準記録を突破したものについてはその人数だけ出場することができる。

四種競技（男子 1700点，女子 1700点）

\*但し、四種競技については各郡市の予選大会において標準記録を突破できなかった場合は1位のみ出場できる。

棒高跳び（2m50）以上

- c リレーについては

郡市1チーム（9校以下の地区）

角田・伊具，柴田，亘理，岩沼，名取，塩竈，多賀城，宮城，富谷黒川，遠田，加美，栗原

郡市2チーム（10～16校の地区）

白石・刈田，大崎，登米，気仙沼・本吉

郡市4チーム（24～31校の地区） 石巻市

郡市9チーム（59校以上の地区） 仙台市

以上，合計33チームとする。 ※今年度，特別枠は「なし」

【特別枠について】 県新人大会において，県中総体の各郡市の出場枠数を超えた数の学校が決勝に残った場合，県中総体出場枠以外に，該当地区へ県大会出場特別枠を与える。

(6) フィールド競技の<sup>ハ</sup>スライ(予選実施種目)及び競技開始の高さ，バーの上げ方は下記の通りとする。

(走幅跳) (走高跳) (砲丸投)

男子 5m80 1m60 10m00

女子 4m70 1m38 9m70

○バーの上げ方

走高跳 決勝（男子）（1m50or1m65練習） 1m55-60-65-70-以後3cm刻み（73-76-79-82-85・・・）

決勝（女子）（1m30or1m45練習） 1m35-40-45-以後3cm刻み（48-51-54-57-60・・・）

予選（男子）（1m50練習） 1m55-60 （女子）（1m30練習） 1m35-38

棒高跳 決勝（2m40or3m30練習） 2m50-65-80 以後10cm刻み（90-3m00-10-20・・・）

\*決勝練習は2段階で行う

※上記<sup>ハ</sup>スライを通過する者が12名に満たない場合は，予選12位と同成績の者までが決勝に進出するものとする。（高さの競技は順位で決定する・・・181条⑧）

四種走高跳 （男子）（1m40練習） 1m45-50-55-60 以後3cm刻み

（女子）（1m15練習） 1m20-25-30-35 以後3cm刻み

(7) その他

(ア) 補欠登録について

補欠登録は、各郡市1種目1名、1人1種目とし、ナンバーカードをつけること。選手変更は、1日目の8:30までとする。(競技会開始後の変更は認めない。)

(イ) プログラムの編成は、委員長に一任のこと。(各ブロックの専門部員は、これを補佐すること。)

(ウ) 四種競技は2日間で行い、順序は、下記の通り行う。

男子(①110mH②砲丸投③走高跳④400m) 女子(①100mH②走高跳③砲丸投④200m)

招集はすべて招集所で行う。

(エ) ナンバーカードは縦20cm×横24cmの布に男子は黒、女子は赤の数字とし、胸・背にしっかり縫いつけること。(但し、跳躍競技は胸・背どちらか一方でよい。)

(オ) 全種目4位まで東北大会出場とする。ただし、申し込み前に、辞退する選手がでた場合は、繰り上げて出場させる。4位が複数となった場合は東北大会をかけた出場決定戦を行う。

(カ) リレーの全国大会出場は、通信陸上と県中総体での優勝チームの記録の上位チームとする。

但し、同タイムの場合は通信陸上、県中総体の予選・準決勝を含めたセカンドタイムの良い方が出場権を得る。

(キ) リレーは、予選タイムレースで上位16チームが準決勝に進出する。

(ク) ナンバーカードは、各学校割り当て(男女各40名分)に応じて準備する。

\*年間を通じて一人の選手が同じ番号を各郡市・県中体連・各種陸協主催の大会で使用。

\*不足した場合は、予備の番号を与えますのでご連絡下さい。

(ケ) 健康診断は各学校行い、学校長の許可を得て申し込むこと。

(コ) 救護については宮城県中学校養護教諭及び看護師に委嘱する。

(ク) 競技中に負傷した場合の応急処置は救護係が行い、必要に応じて救急病院等と連絡をとる。

また、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

(シ) 日本スポーツ振興センターの災害救済給付が適用される。

(ス) 申込書に記載する、選手氏名、学校名、学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用します。また、成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載します。記載、掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は抽選会まで県中体連事務局(022-725-4207)へ連絡すること。特に申し出がない場合は、この申込により掲載を承諾したものとします。

(セ) 各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った選手が失格となり、その種目の得点は0点となる。スタートの合図については英語で行う。

(ソ) その他一切、県会報、申し合わせ事項による。